



CLOVER

くろーばー

1

January 2019

No. 106

特集

以外と知らない？
本当のだしの話

新しい夢 どんどん



育てよう明日を

JAグループ鹿児島



謹賀新年

組合員の力を結集し
協同組合らしい事業・活動を展開

代表理事組合長 春田 和則

明けましておめでとうございます。

組合員、利用者、地域住民の皆様におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。平素より、JA北さつまの事業全般にわたり格段のご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年は世界各地で記録的な猛暑、豪雨、干ばつなど、異常気象に見舞われた年でした。国内でも西日本豪雨災害や北海道胆振東部地震が発生したほか、本県においては台風24号が猛威を振るい大きな爪痕を残しました。

JA管内におきましては、霧島連山・硫黄山噴火の影響で、伊佐市では昨年、川内川から取水する水田での作付けを断念せざるを得ない状況となりました。JAでは対策本部を立ち上げ、資金相談などの支援に取り組む窓口の設置、水稲肥料、農薬、種もみなど返品を受け付け、代替作物の種子確保などJA県経済連と連携し対策に努めました。本年は稲作の再開が決まりましたので、被災イメージの払拭に努め販売促進に力を入れて参ります。

農業を取り巻く情勢は農家戸数の減少や高齢化、耕作放棄地の増加など、生



◆会長

永福喜作

◆常務理事

有馬一吉

山口利明

◆理事

今村真由美

山下和弘

小牧勝一郎

岸牧広光

地徳てるみ

井下厚男

假屋裕光

楠元伸一

圓林俊美



産基盤の急激な縮小・弱体化が深刻化しています。国際貿易交渉ではTPP11（環太平洋連携協定）が発効され、日欧EPA協定については本年2月にも発効される見通しとなっています。さらに日米物品貿易協定の交渉開始が合意されたことから、国内農業への影響が懸念されます。

このような情勢の中、薩摩中央家畜市場の子牛価格は全国トップクラスの高値取引を維持しております。生産基盤を強化するため増頭対策に取り組んで参りますので、さらなる銘柄確立へのご協力をお願いいたします。また、日本穀物検定協会の米食味ランキングにおいて、当地域の県北産「あきほなみ」が5年連続で特Aを獲得しました。さらに昨年、山形県庄内町で開催された「日本一おいしい米コンテスト」のプレミアム部門で、さつま町産「あきほなみ」が最優秀金賞を射止め、全国の名だたる産地を抑えて日本一に輝きました。全国和牛能力共進会に続く快挙で、JA管内の米の評価が上がると期待しております。生産者の皆様にはより一層、食味良好な米の生産をお願いいたします。

今年度は農協改革の正念場として、経営理念である「農業を振興し食と農と水を守り、人づくり・組織づくりを通じて地域に信頼され、愛されるJAを目指す」ことを目的に、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を柱とし、コスト抑制対策や農産物の販売強化対策などさまざまな施策に取り組んでおります。今後さらに自己改革に集中的に取り組み、農業とくらしの発展に貢献して参ります。

今後ともJAでは、組合員の力を結集して協同組合らしい事業・活動を展開し、真に評価され、信頼されるJAを目指して参ります。本年も組合員をはじめ利用者の皆様、地域の皆様にとりまして、健やかで素晴らしい一年でありますようご祈念申し上げます、年頭のあいさつとさせていただきます。

岸良明夫	奥野政博	東郷徹夫	上園吉一	井ノ下正明	◆監事	徳留純一	◆常勤監事	向江秀仁	◆代表監事	中島正和	犬童和己	山之上正幸	小西義彦	市来栄造	奥浩一	西裕一郎	田崎善文	綾園研一	近藤裕一	中塚常夫	松下洋一	森谷晴己
------	------	------	------	-------	-----	------	-------	------	-------	------	------	-------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------

鹿児島きんかん「いりき」はさみ入れ

色づき、糖度◎

良好な仕上がり

J A北さつま果樹部会川内きんかん専門部会は11月22日、薩摩川内市入来町の(有)中之原製茶きんかん園で、鹿児島きんかん「いりき」のはさみ入れ式を行いました。今年は開花のばらつきや台風の影響が心配されま

したが、玉伸びや色づき、糖度など生育も順調で、良好な仕上がりとなっています。

同市では昭和58年に栽培が始まりました。現在の部会員は59人でハウス面積11・6畝。生産技術の高位平準化や品質の向上に取り組み、「かごしまブランド産地」に指定されています。

主な出荷先は関東・関西市場。平成30年産は共販量290ト、販売単価850円、販売額2億4650万



黄色く色づいたキンカンを丁寧に収穫する生産者



円を目指しています。

式には生産者やJ A、行政、市場関係者ら約70人が参加し、高木成寛部会長(64)が「生で食べられるキンカンを全国にアピールし売上を伸ばしたい」とあいさつ。その後、関係者が1個ずつ丁寧にはさみを入れ、収穫を祝いました。



さつま町でも出荷が本格化しています

選果選別の徹底確認

さつま金柑専門部会目揃え会

J A北さつまのさつま金柑専門部会は12月7日、ハウスキンカンの本格的な出荷の前に、さつま町で目揃え会を開きました。生産者が集まり、早取り防止や選果選別の徹底に努めることを確認しました。

同部会は22人で栽培面積は4・8畝。ハーブの抽出液とペレット状の肥料を定期的に土壌に散布するステビア栽培に取り組んでいます。甘味が増すのが特徴で、市場の評価も高まっています。

今年産は台風の影響で風傷果が若干見られますが、生育は順調で味、着色、品質とも良好です。

3月上旬まで東京、名古屋、京都を中心に出荷します。部会では出荷量90ト、約7000万円の売上を見込んでいます。



日本一おいしい米コンテスト

プレミアム部門

鍛冶屋さん最優秀金賞

山形県庄内町で開かれた「第12回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」決勝大会のプレミアム部門で、さつま町船木の鍛冶屋公貴さん(46)が出品した「あきほなみ」が最優秀金賞を射止め、悲願の日本一に輝きました。

鍛冶屋さんは12月3日、J A北さつま本所を訪れ、春田和則組合長に受賞を報告。「決まった瞬間、驚きで体が震えた。日本一おいしいと評価されてうれしい」と喜びを語りました。

コンテストには全国からメジャー部門207点、プレミアム部門203点、高校生部門60点の計470点、59品種が出品されました。公募で選ばれた全国の消費者470人と特別審査員が食べ比べを行い、味や香り、食感などを総合的に審査しました。鍛冶屋さんは12粒で、あきほなみやヒノヒカリなど多品種の水稲を栽培しています。コンテストには第8回大会から5年連続で出品しており、

決勝大会進出は2回目。全国の名だたる産地を抑え、快挙を達成しました。受賞報告で鍛冶屋さんは「今でも信じられない。さつまの米を全国にアピールできてうれしい。今後おいしい米作りに取り組んでいきたい」と話しました。春田組合長は「全共につき、米も日本一に輝き誇らしい。J A北さつま管内の米の評価も上がると期待している。ブランドの確立に向けさらに精進し、良食味米の生産に取り組んでもらいたい」とねぎらいました。



悲願の日本一。「体震えた」

表彰式で最優秀金賞を受賞した喜びを語る鍛冶屋さん(山形県庄内町で)



伊佐市農業再生協議会 稲作再開を決定



伊佐市農業再生協議会は12月4日夜、市役所菱刈庁舎で臨時総会を開き、硫黄山噴火の影響で川内川から取水を中止し水稲作付けを断念した水田で、平成31年度は稲作を再開することを決めましたⅡ写真Ⅱ。

総会では、鹿児島県川内川水質問題対策本部会議で示された川内川の水質結果、代替水源確保に向けた取り組みなどを報告。市では川内川に水質監視センサーを設置し、水質の異常を感じた場合、遠隔操作で2カ所の取水門を自動で閉じるシステムを、田植え前までに整備すると説明しました。

隈元新市長は「協議会の判断を尊重し、来年は耕作することを決めた再び水質が悪化した場合、作付けを中止することもありえる。最悪のことを想定し、野菜への転換や他品種の作物づくりにも目を向けたい」と語りました。

意外と知らない？ 本当の「だし」の話



「だし」と聞いて思い浮かぶのは、かつお節や昆布のうま味。でも実はそれだけでなく、私たちが口にする食材はどれもそれぞれが独自のうま味をもたっています。料理をおいしくしてくれる「だし」って、そもそも何？

うま味を液体に移したのが「だし」

和食ならかつおだしや昆布だし、煮干しだし。西洋料理ならブイヨンやフォン、中華では鶏がらや豚骨で取る湯（タン）……。料理のベースになるだしは世界各地にあります。これに調味料と具材を組み合わせて、さまざまな料理が出来上がります。煮出す場合が多いのですが、水に浸しておくだけで味が出ることもあります。つまりだしとは、素材が持つうま味を液体に移した物と考えていいでしょう。

こうしただしは「独立して取るだし」。一方「自然に取れるだし」もあります。鍋料理や煮物がおいしいのは、入れた具それぞれのうま味が汁の中で一体になるから。汁気のほとんどの野菜炒めも、液体である炒め油に各野菜のうま味が溶け出しています。

「だし」には2種類あります。

独立して
取るだし

昆布、かつお節、煮干し、干しシイタケ、ベジブロス(くず野菜)、西洋のブイヨン、フォン、ブロード(以上、野菜や肉のだし)、中華の湯(タン/鶏がらや豚肉などのだし)など

自然に
取れるだし

鍋料理、煮込みスープ、炒め物、魚や肉の煮込み料理の素材から出るだし

だし

あらゆる食材がだしになる

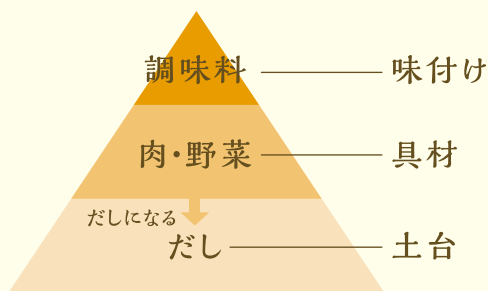
ほぼ全ての食材は、何らかのうま味を持っています。三大うま味成分の一つであるイノシン酸は魚介類や肉、グルタミン酸は野菜や海藻、きのこ、発酵食品、グアニル酸は干しシイタケやのりなどに多く含まれます。例えばトマトやタマネギも、スープに入れば立派なだし素材。グルタミン酸を多く含む日本茶も、茶葉のだしを味わっているといえます。

三つのうま味成分は、組み合わせることで何倍にもおいしさを増します。かつお節と昆布の合わせだしはよく知られていますが、「自然に取れるだし」でもその効果は絶大。トマトと魚、アサリを煮ればブイヨンなしでもうま味十分ですし、昆布+豚肉も相性抜群。八宝菜などは戻した干しシイタケを加えると味にぐんと深みが出ます。手近な食材を使って、あれこれ合わせ技を試してみるのも面白そうです。

インスタントだしを使うなら

「独立して取るだし」では、今はいくかの家庭で、便利な粉末だしやパックだしなどを使うようになりました。こ

「だし」「肉・野菜」「調味料」の関係



ここで気を付けたいのがパッケージに表示されている原材料名です。だし素材以外の材料が入っていれば、それは厳密には「だし」ではなく、だしに近づけた物と考えていいでしょう。また、商品によっては塩や粉末しょうゆで味付けしてある物もあります。作りたい料理に合わせて選び、調味する際は塩分の取り過ぎにならないよう注意してください。

時間のあるときにかつお節、昆布、煮干しなどでだしを取って、本来の味を覚えておくと、インスタントだしの風味の過不足も分かり、使いこなしも広がります。



煮干し

小魚を煮て干したもので、カタクチイワシが主流。イリコとも呼ぶ。地域によってアゴ(トビウオ)、アジ、タイなどさまざまな煮干しがある。



昆布

ほとんどが北海道産で、古くから全国に広まっていた。だしは水出しもできる。かつお節や煮干し、干しシイタケとの相性も良い。



かつお節

関西や中部地方では荒節、関東では枯れ節が主流。厚削りの方が濃いだしが出る。サバ、ソウダガツオ、マグロ、ウルメイワシなどの削り節もある。



何でも「だし素材」

具材に使う食材も全てうま味成分を持っている。合わせ技でおいしさもアップ!



その他乾物

干しエビ、干し貝柱、いり豆、かんぴょう、切り干し大根、ベーコン、ドライトマトなども良いだしが出る上、具材としても使える。



干しシイタケ

精進料理に必須のだし素材。干すことで栄養素もうま味成分も飛躍的に増える。水出しもでき、だしを取った後は具材に使えるのも利点。



中華料理のだし

西洋料理が香りを重視するのに対して、中華料理は油を使った濃い料理に合う、コクとうま味があるだしが好まれます。鶏や豚を長時間煮出し、香り付けよりは臭みを消すために香味野菜や香辛料を加えた味の濃いだしが使われてきました。中華のだしは「湯(タン)」と呼ばれ、主に動物性のだし(ホウタン)と植物性のだし(スウタン)に分かれます。



フランス料理のだし

煮込み料理には欠かせないフランス料理のだし。牛や鶏、魚などの動物性材料の他に、香味野菜は煮込むと肉や魚の好ましくない臭いを消すため、香り付けの役割もあります。フランス料理のだしは、ブイヨンとフォンの二つに大きく分かります。「ブイヨン」はポタージュやコンソメの土台で、「フォン」はソースや煮込み料理の土台になります。

注目が集まる

だしソムリエとは?

だしソムリエ協会

<https://dashi.be/>

だしを知り、料理や商品開発に生かすための民間資格が「だしソムリエ」。3級資格が取れる1日講座では家庭で役立つだしの基本を学びます。2級・1級講座では、各界のプロ講師の講座により深い知識を積んだ、だしの専門家を養成。動画学習サービス「Udemy」でのオンライン3級講座も今後スタート予定です。

体験発表で平和の大切さを訴える原菌さん



鹿児島県家の光大会

原菌さんが平和の大切さを訴える

平成30年度鹿児島県家の光大会が12月4日、鹿児島市のJA県会館でありました。記事活用体験発表で、JA北さつま女性部伊佐支部の原菌ナルさんが優秀賞を受賞しました。

タイトルは「ありがとう！家の光」。原菌さんが「家の光」と出会ったのは4歳の頃。挿絵や漫画、料理の写真もあり、小さな子どもでも楽しい雑誌だと感じたそうです。

戦争で父を失った原菌さん。自分の体験を劇にして平和の大切さを伝えようと、JA女性部員に声を掛け、演劇部「ナル劇団」を立ち上げました。各イベントで劇を披露し、小学校では平和についての講演も行いました。

このような活動が「家の光」で紹介され、全国の購読者から「感動した。涙を流しながら読んだ」などの手紙が届き、大きな反響を呼んだことを紹介しました。

原菌さんは「戦争の悲惨さ、平和を考える輪が『家の光』を通じて、女性部にJAに、地域に、全国に広がっていくのを実感した。この輪をなお一層広げていくことが私の使命だと確信している」と述べ、会場から温かい拍手が送られました。



第44回JA農業機械大展示会

トラクターの価格引き下げ実現

第44回JA農業機械大展示会が11月15～17日までの3日間、霧島市溝辺町の鹿児島臨空団地でありました。今回は国内外のメーカー50社が約1万点の農機具を展示。無人トラクターの実演など次世代スマート農業の紹介もあり、来場客の関心を集めていました。

JA県経済連では、トラクターの機種と販売台数を事前に決めてメーカーと直接交渉することで、価格引き下げを実現。県独自の特別推進品目として販売しました。また、南九州3県で共同仕入れしたトラクターも、昨年に引き続き販売しました。



来場客の関心を集めたコスト低減農機コーナー



園児から春田組合長に感謝の手紙が贈られました

宮之城聖母幼稚園の園児がJA訪問

「ありがとう」と感謝の手紙

さつま町の宮之城聖母幼稚園の園児12人が11月19日、JA北さつま本所を訪れ、感謝の手紙と壁飾りを贈りました。同園では働く人々に感謝しようと、毎年勤労感謝の日の前に、JAや役場などの事業所を訪問しています。

園児は「いつも私たちのために働いてくださってありがとう。おいしいご飯をいっぱい食べて大きくなります。これからも体に気を付けて頑張って」と、感謝の手紙を読みました。かわいい園児の心遣いに応じた春田和則組合長も「ありがとう」と笑顔で話し掛け、お礼に菓子をプレゼントしました。



「いさ丼」で伊佐米をPRする高校生

大口、伊佐農林、大口明光の3高校 「いさ丼」で伊佐米をPR

伊佐市内の大口、伊佐農林、大口明光の3高校が11月25日、曾木の滝公園で開かれた第57回もみじ祭りで、伊佐米を使った「いさ丼」を販売しました。

風評被害をなくし、伊佐米のおいしさと安全性をPRしようと企画。地元ラーメン店とコラボした「塩チャーシュースープ飯」や、「ローストビーフ丼」「チーズダッカルビ丼」の3品を販売し、人気を集めました。

食べ比べをした女性は「良い味付けでおいしい。頑張っている生徒の姿を見て応援したくなった」と話していました。

湯之尾神舞を奉納

優雅な舞で神楽ファン魅了

伊佐市菱刈の湯之尾神社で11月23日夜、鹿児島県指定無形民俗文化財の「湯之尾神舞」が奉納されました。今回は伝承されている26番のうち、18番の舞が披露され、境内を埋め尽くした神楽ファンを魅了しました。

五穀豊穡と無病息災を祈願する神舞は500年以上の歴史があります。特設舞台では太鼓や笛の音に合わせ、「一番舞」や「四方神楽」など優雅な舞が次々に披露されました。

また、午前中には豊祭（ほぜまつり）もあり、浜下りや子どもみこしなどが行われ、地域住民を楽しませていました。



太鼓や笛の音に合わせ18番の舞が披露されました



JA共済連鹿児島賞を受賞した下別府さん④

JA共済書道・ポスターコンクール 下別府さんがJA共済連賞受賞

JA共済鹿児島県小・中学生書道コンクール及び交通安全ポスターコンクール表彰式が12月1日、鹿児島市のJA県会館で行われました。

交通安全ポスターで、さつま町立宮之城中学校3年の下別府心奈さんがJA共済連鹿児島賞に選ばれたほか、学校賞を伊佐市立山野小学校（ポスター）と薩摩川内市立川内中央中学校（書道）が受賞しました。

書道の部には3万7881点、ポスターの部には3679点の応募がありました。

川薩地区青年農業者会議・担い手組織研修会 経営や地域振興などで意見交換

平成30年度川薩地区青年農業者会議及び担い手組織研修会が11月22日、さつま町のひかり別館でありました。若手農業者や認定農業者ら約80人が参加し、農業経営や地域振興に向けた課題・対策について考えました。

会議では、日頃実践している農業技術と経営の課題解決活動の成果をまとめたプロジェクト発表や、農業経営の確立を目指す輝けトーク、高校生意見発表などがありました。

また、「雇用問題をどう解決するか」をテーマにパネルディスカッションもあり、活発な意見が交わされました。



さつま町のイチゴを全国に発信したいと語る高校生



伊佐米ブランドを発展させたい

おおつか
大塚

こういち
公一さん(39)

伊佐市菱刈田中

県農協青壮年組織協議会委員長を務めており、若手農業者のリーダー的存在です。「鹿児島島の農業を若い力で盛り上げていきたい。そのためにもJAには、農家の跡取りがスムーズに農業に取り組めるよう、環境づくりなど後継者支援に力を入れてもらいたい。また、営農指導体制を強化し、生産者の現状を把握したきめ細かな指導をお願いしたい」と語りました。

大塚さんの水田では、病害虫の発生や台風被害もなく順調に生育し、立派な稲穂が実りました。「米にとつて水は欠かせない。水のありがたみを実感した年だった」と振り返りました。

両親の働く姿を見て農業にあこがれ、中学生の頃、農家になることを決意しました。県立農業大学校を卒業し就職。現在では水稲を中心に「金山ねぎ」、アールスメロンを栽培し、生産牛の飼養にも取り組んでいます。平成30年は硫黄山噴火による影響で、伊佐市では川内川から取水する一部の水田で稲作を中止しました。伊佐米ブランドを守るため、苦渋の決断でした。



番外編・日本農業新聞新春企画
100人のプロフェッショナル



経営品目

☆水稲 8畝
☆金山ねぎ 80ルア
☆アールスメロン 10ルア
☆生産牛 8頭

伊佐地区は県内有数の米どころですが農家の高齢化が進み、生産基盤の縮小・弱体化が懸念されます。「われわれ若手は地域の水田を守る役割を担っている。今年も頑張っておいしい米作りに励み、伊佐米ブランドを発展させたい」と、力強く抱負を述べました。



伊佐市立羽月西小学校で11月16日、東日本大震災で被災した宮城県南三陸町に届ける干し柿作りが行われました。J A北さつま女性部伊佐支部からも12人が参加し、皮むきなどの作業を手伝い、オレンジ色に染まる“柿のカーテン”に復興の願いを込めました。

同校の干し柿作りは、被災地の高齢者を励まそうと6年前に始まりました。J A女性部が中心となって市内で柿を探し回り、約2000個を集めました。森吉美咲生活指導員は「今年は裏作で探すのが大変だったけど、いろんな人の協力で確保できた。感謝している」と話しました。

児童らは柿の皮を丁寧にむき、ひもに結んでから熱湯に漬け、渡り廊下につるしました。干し柿は南三陸町社会福祉協議会に届け、デイサービス利用者らにクリスマスプレゼントとして配られました。

J A女性部の帖佐敦子さんは「南三陸町の人も喜んでくれていてやりがいがある。今年も甘くておいしい干し柿をいっぱい食べて、元気を出してほしい」と語りました。



さつま地区農業祭、伊佐ふるさとまつり、薩摩川内市産業祭& J A フェスタで、女性部の飲食コーナーが人気を集めました。うどんやそば、おにぎりなどを販売。「温かくておいしい」と、おふくろの味が好評でした。

さつま地区の湯田支部は古布を使ったおしゃれな小物を販売しました。

J A北さつま・J A厚生連では、総合的な健康診断として人間ドックを行っています。

ぜひ人間ドックを受けて健康づくりに役立ててください。申し込みと問い合わせは、J A本所福祉課（0996）53-1131、川内総務経済課（0996）27-0191、伊佐総務経済課（0995）24-2607へ。

受診日	支所名	コース	募集人員
1 / 10	さつま	一般	10人
1 / 11	伊佐	一般	10人
1 / 11	伊佐	女性	10人
1 / 22	川内	一般	5人
1 / 22	川内	女性	5人
1 / 24	こしき	一般	2人
1 / 31	さつま	一般	10人
2 / 7	伊佐	一般	5人
2 / 12	さつま	一般	10人

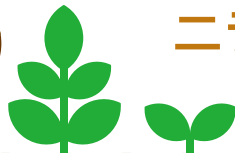
薩摩中央家畜市場 2018年12月6日～7日

入場頭数	617頭							
売却頭数	607頭							
入場	売却	最高値	最低値	平均値	平均体重	kg単価	前回比	
雌	288	278	1,485,000	245,160	861,141	282	3,056	36,998
雄								
去	329	329	1,505,520	47,520	906,731	307	2,956	▲12,815
総平均値	885,851 円							
前回比	11,751 円 高値							
総売上高	537,711,480 円							



薩摩中央家畜市場で12月6、7日の2日間、子牛せり市がありました。1頭当たりの平均価格は8万5851円で、前回（11月）を1万1751円上回りました。最高値は雌が14万8500円、去勢は1万5000円でした。

子牛平均88万円

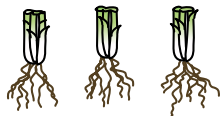


ニラは早めの株分けと更新

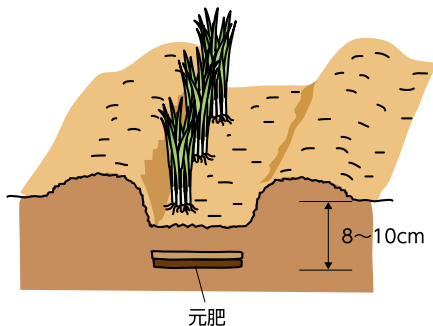
板木技術士事務所 ● 板木利隆



力を入れて大きく掘り起こす



指先で2〜3本ずつに分割する



元肥

株が増えてきたら銀色のフィルムを畝上に二重掛けし、さらに黒色フィルムで覆い、黄ニラに育ててみるのも楽しみです。なお、販売用の高品質な物は、毎年種まきして育てた苗を植えて、年間随時販売する物で、通常古株は利用しません。

肉との料理の相性が良く、スタミナ料理などに親しまれるニラは、多年草で一度植えておけば、毎年、年に数回収穫できるので、家庭菜園に適した野菜といえましょう。しかし、いくら強いといっても2〜3年取り続けると、株が密生気味となり、幅広で厚みのある良い葉が収穫できなくなってしまう。そうなる前に早めに株分けし、更新するのが得策です。

株分けの方法は、まず地上に残っている枯れ葉を、5cmぐらいの高さで、鎌できれいに刈り取ります。そして株の周りにくわかスコップを大きく打ち込んで、根を土から掘り起こします。根は強大で、密に広範囲に広がっている。そこで、全てを一気に掘り取れないので、途中で縦に切断しても構いません。

掘り上げた土を振るい落とし、指先に大きく力を入れて大割りし、さらに小割りして、図のように2〜3本ずつに分割します。これを2〜3個まとめて、20〜25cmの株間に植え付けます。

植え溝は事前に、8〜10cmぐらいに深めに掘り、元肥として堆肥や油かす、緩効性の化成肥料などを十分に施しておきます。植える際には、根株を束ねないで、平置きにするよう心掛けましょう。

溝は深めに掘って植えた根株を寒気や乾燥からも守ってやります。覆土は株の上部がやや出るくらいにとどめておき、やがて新葉が伸びだしてきたら、葉先を埋めないよう注意しながら、2回ほど覆土をして、溝が埋まるように管理します。

そうすると春には見違えるほどに、勢いの良い、良質なニラになります。

みんなはAコープです!

今年もAコープを
よろしくお願いします!



J A北さつま管内Aコープ店長一同

今年もAコープは、組合員の皆様の暮らしのお手伝いをするため、「地産地消」「安心・安全」にこだわった商品を取り揃え、皆様のご来店を心よりお待ちしております。

夕食宅配ご注文承り中!

飽きない献立のお弁当を、月〜金曜日の5日間、毎日お届けします。レンジで温めるだけのお弁当・おかずです。一人暮らしで食事づくりが大変な方、仕事や子育てで忙しい方など、どうぞご利用ください。

エコープ

川内店 0996-27-1122

市比野店 0996-38-1089

ひしかり店 0995-24-1220

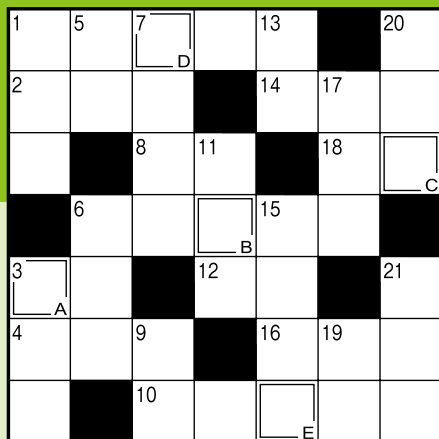
受付時間: 10時〜17時



お弁当コース ※写真は一例です

詳しくは、左記店舗にお問い合わせください。

※配達エリア・各店舗より約3kmの圏内とさせていただきます。



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

■ヨコのカギ

- 1 輪郭を描いた紙に目や鼻などのパーツを並べて遊びます
- 2 1、2、3や一、二、三など
- 3 『春の海』や『六段の調（しらべ）』を奏でる楽器
- 4 小銭入れに入れる物
- 6 鹿児島産焼酎の原料の多くはこれ
- 8 空からちらちらと降ってきます
- 10 山田太郎さんだったらT・Y
- 12 怒ると頭に生えるかも
- 14 車窓を流れていくもの
- 16 剣道で使う武器
- 18 ご来光を見るために登る人もいます

■タテのカギ

- 1 障子よりは破れにくそうな建具
- 3 彼は——東西の文学に詳しい
- 5 素振り中のバットが切るもの
- 6 テンサイなどから作られる調味料
- 7 漫談家が巧みな——で場を沸かせた
- 9 カキやタイラギ、トコブシなど
- 11 ——考査。——手当
- 13 寒い日には氷が張ることも
- 15 平成31年の十二支は
- 17 闘鶏に使われる鳥。漢字で書くと軍鶏
- 19 農具や収穫物を入れておく建物
- 20 壁の——から風が吹き込んだ
- 21 旅客機に乗ってためる人もいます

応募方法

895-1811

J A北さつま経営企画室
「クロスワード」係

- ①答え
- ②郵便番号
- ③住所
- ④氏名
- ⑤年齢
- ⑥意見・感想

郵便はがきに①答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥意見・感想などを書いて、左記の宛先まで送ってください。正解者の中から抽選で10名の方に粗品をプレゼントします。締切は1月25日。(クイズの応募で取得した個人情報については、これ以外には使用いたしません)

11月号当選者発表

11月号「パズル？ 頭の体操」当選者は次の方々に決まりました。おめでとうございます。

- ▷手島洋子さん▷萩田藤衛さん
▷岩元君代さん▷植園澄子さん
▷森園千里さん▷田島清子さん
▷佐野町子さん▷天立テル子さん
▷有馬貢さん▷濱島美智子さん

12月号の解答

トシワスレ



当選者は2月号で発表します。

理事会だより

第9回理事会を11月30日に開き、次の事項について協議しました。

【議案】

- ① J A北さつま人づくり方針の策定について
- ② 教育規程の一部改定について
- ③ 事業継続計画(B C P)について
- ④ 次期役員改選期における役員定数及び常勤理事体制のあり方について
- ⑤ 固定資産取得について
- ⑥ 組合員に対する貸付について
- ⑦ 組合と理事との契約について

【報告】

- ① 平成30年度全国監査機構期中監査Ⅰの監査回答書について
- ② 平成30年度全国監査機構期中監査Ⅱの実施について
- ③ 職員教育研修実施要領の一部改定について
- ④ 平成30年度集落・営農座談会開催要領について
- ⑤ 自己改革重点取組の8月末進捗状況について
- ⑥ 不祥事再発防止策にかかる履行状況(10月)について
- ⑦ 金融・共済A D R (相談・苦情等対応状況) 報告について
- ⑧ J A北さつまクレドカードの作成及び活用について
- ⑨ 2019年新春企画旅行「異国情緒の街長崎とペンギン水族館2日間の旅」開催要領について
- ⑩ 年末年始の業務について
- ⑪ 平成30年度共済E S調査の実施について
- ⑫ 平成30年度J A共済コンプライアンス点検結果報告について
- ⑬ 共済収納システムの変更について
- ⑭ 平成30年度J Aバンクウィンターキャンペーン実績について
- ⑮ 平成30年産米集荷・検査状況報告について
- ⑯ 共済速報について
- ⑰ 子牛・成牛せり市実績について

農協共通商品券のご案内



何かと便利な「農協共通商品券」
お買い求めは、お近くのJ A窓口で



JA青壮年部と 役職員が意見交換

JA北さつま青壮年部は12月7日、JA本所で、JA役職員と意見交換会を開きました。若手農家の声をJA事業に反映させるのが目的。さつま、伊佐地区両青壮年部の役員ら16人が出席しました。

JAでは自己改革の取り組みや、今後の事業計画の考え方について説明しました。青壮年部組織の活性化を図るため、青壮年部広報誌の発行や食農教育の実践、婚活イベントの開催など、支援活動を提案しました。青壮年部からは、人材不足を補うための農家支援隊の設立や、交流サ



活発な意見交換が行われました

イト（SNS）を使った農産物PR、営農指導員のスキルアップ、情報通信技術（ICT）を活用した畜産振興などの要望があり、JA役職員と活発な意見交換が行われました。

さつま地区青壮年部の小山栄一郎副部長は「昨年に続き、現場の声を聞いてもらい心強く感じた。良い農畜産物を生産しJAに出荷するのが自分たちの役目。生産性を上げられるよう頑張りたい」と話しました。

地域農業発展目指し 組合員との対話重視

JA北さつまでは、自己改革の実践をまとめたリーフレットを活用し、組合員や地域住民に「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」につながる取り組みの説明を行っています。今後も会合や座談会、イベントなどで配布し、組合員・地域住民との対話に努め、農業とくらしの発展を目指します。



クレドカードを作成



JA北さつまが作成したクレドカード

JA北さつまは、経営理念を浸透させるためクレドカードを作成しました。全役職員が携帯し活用することで、目標の共有化を図り、自主・自律的に行動できる職員の育成を目指します。

クレドとは、ラテン語で「志」「信条」「約束」を意味し、マネジメントでは「経営理念」を表します。カードは名刺サイズの三つ折り、携帯しやすいのが特徴です。経営理念や役職員の行動規範、JA綱領、10の質問、JA北さつまの電話帳を記載しています。

JAでは、朝礼や会議、研修会などで経営理念や行動規範、JA綱領を復唱し浸透に努めます。

**2019 JA北さつまとゆいポートが贈る
新春農業機械展示会
& 中古農機フェア**

日時 平成31年**2月7日(木)** (午前10時~午後3時)
2月8日(金) (午前9時~午後0時)

場所 経済連 **JA農機かごしまゆいポート**
(九州自動車道 満辺鹿兒島空港インターチェンジ入口)

●会場ご案内図

系統農機メーカーがおすすめする、**低コスト・高性能・高品質の最新式農業機械**がご覧いただけます。
中古農機で農家の負担軽減、低コストで農家を支援します。

●会場ご案内図

特別価格にてご提供いたします。
来場記念品も準備しておりますので、ご家族そろってご来場下さい。

●お問い合わせは

JA北さつま 本所 農業機械課 Tel.0996-53-1248

●川内農機センター Tel.0996-22-6300 ●入来農機センター Tel.0996-44-3336

●樋脇農機センター Tel.0996-37-2022 ●伊佐農機センター Tel.0995-26-1007

変わるJA 広がる地域のきずな

監修=広島大学
助教 小林元

Q. JAは未来へ食と農をつないでいくために何をしているの？

A. 地域農業の活性化はもちろん、食や農への理解醸成に努めています。

JAは総合力を発揮して、地域の実態に合わせたさまざまな施策を通じて、地域農業を支えています。JA自己改革を通じて、農業者の所得増大をすすめることで、農業をより魅力あるものとしていきます。また、地域の農業を次世代につなぐために、労働力支援や経営管理支援、事業継承や新規就農の支援などを積極的に展開しています。

とりわけ、多くの国民にとって関心の高い「食」を切り口とし、農業・農村について理解を深める取り組みを進めます。支店や直売所を中心とした農業祭や農業体験、料理教室などのイベントなどにより、「食」の大切さや国産農畜産物の魅力、農業生産の営みなどを地域の皆さんに伝えています。地域の農畜産物を購入して食べる人、体験型農園や援農ボランティア制度を活用して農産物を実際に作る人など、農業振興の応援団を増やしています。

また、今年から、10月2日が「直売所（ファーマーズマーケット）の日」に制定され、JAとして生産者と消費者の架け橋になる直売所の活性化を進めています。

作って
応援

- 体験型農園
- 直売所への出荷
- 援農ボランティア
- 家庭菜園



食べて
応援

- 直売所で地元産農畜産物を購入
- 農業まつり、支店まつり
- 農業体験イベント
- 直売所でのイベント



耕そう、大地と地域の未来。

新春ローン相談会

各種ローンについての無料相談会を開催いたします。お気軽にご相談ください。

【さつま】 ☆開催場所 本所2階営農センター
☆開催日 1月20日(日)
☆開催時間 9:00~15:00

【川内】 ☆開催場所 川内総合支所
☆開催日 1月20日(日)
☆開催時間 9:00~15:00

【伊佐】 ☆開催場所 伊佐総合支所
☆開催日 1月20日(日)
☆開催時間 9:00~15:00

今月の表紙

すまいるキッズ



さかぐち ゆあ
坂口 結葵ちゃん(2)

☆好きな食べ物は
結葵ちゃん「キュウリとバナナ」

☆好きなアニメは？
結葵ちゃん「アンパンマン」



総合葬祭
ルミエール

家族葬

従来の葬儀にとらわれず、故人とゆっくり最後の別れを親しい人だけで惜しむ事が出来るお葬式です。

私共は、ご遺族の皆様の親身になり、

ご希望に応じて最適な施工料金プランを提案いたします



大切な家族のもしもに備えて…（無料事前相談のすすめ）

「大切な家族が亡くなったらどうすれば」「葬儀費用が心配だ」

「お葬式をする本人の希望をかなえたい」

「派手じゃなくても温かいお葬式をしてあげたい」

など 私共葬祭ディレクター（専門スタッフ）が丁寧に説明させていただきます。

詳細な御見積もり、又、ご遺族のためのお葬式の準備をさしあげます
皆様のお葬式への不安を是非、私共にお聞かせください

北さつま農業協同組合

ルミエールさつま紫泉閣

薩摩郡さつま町轟町12-4

0120-174-244

ルミエール孔明閣

薩摩郡川内市永利町666-4

0120-091-059

ルミエール伊佐忠元

伊佐市大口原田2275-2

0120-098-313

JA北さつま

ギフトカタログ

季節を贈る、旬を味わう。

懐かしいふるさとの味を贈りませんか。



JA支所で
配布中!



ご注文方法

FAX

0996-53-2755

北さつま農業協同組合 本所（生活課）
別紙の FAX 用紙に必要事項をご記入の上、上記までお送りください。

JA北さつま 〒895-1811 薩摩郡さつま町虎居745 Tel0996-53-0940 (生活課)

さつま町 伊佐市 薩摩川内市 ふるさと納税返礼品に
JA北さつまの農畜産物をご利用ください。

人気商品

鹿児島黒牛「JA北さつま牛」セット



いさひかり

お薦め商品

たけのこ詰合せセット



梅ちゃんスカッシュ



さつま米
(米・おこわセット)



ふるさと納税返礼品の申し込み・問い合わせは、さつま町・伊佐市・薩摩川内市の各役所へ